令和7年度第4回　運営推進会議開催状況報告書

事業所名	地域密着型介護老人福祉施設「赤煉瓦の郷」
開催日時	令和　7　年　10　月　21　日（　火　）　14　時　00　分　～　14　時　50　分
開催場所	赤煉瓦の郷相談室（近江八幡市船木町59番地3）
参加者	地域住民代表者　　名　　事業所職員　3　名 利用者（家族）代表者　1　名　　知見者、民生委員等（欠席）名 行政職員　1　名　　その他（　　）　名
議題	1. 施設長からの状況報告 2. ユニット活動の状況報告 3. 入居者数の現況報告 4. 提言・要望・質問等 5. 今後の開催について

会　議　録

1. 施設長からの状況報告
満床に向けて、引き続き取り組んでいきます。

2. ユニット活動の状況報告
・ユニットでの取り組み
・入所者様について
・職員研修
・苦情報告
・アクシデント、ヒヤリハット報告

3. 入居者数の現況報告
・定員20床のうち在籍17名。（男性6名、女性11名）
・平均要介護度は3．4。
内訳は、介護度1（0名）、介護度2（0名）、介護度3（11名）、介護度4（5名）、介護度5（1名）。
・平均年齢は91．2歳。
内訳は、80～84歳（1名）、85～89歳（7名）、90歳以上（9名）。

4. 提言・要望
○橋本施設長
・アクシデントの追加報告
・PTメイトの活用により、PTの3ヶ月に1回の訪問。12月から生活機能向上連携加算の取得予定。
・看護のオンコールについても、ドクターメイトの導入を検討中。
・特定技能外国人雇用についての状況報告

○市役所介護保険課　方山様
・特定技能外国人の優秀かどうかとの判断基準は何ですか？
○橋本施設長
・見聞きしての呑み込みが早いか。自ら見て覚える姿勢があるかですかね。
○市役所介護保険課　方山様
・PTを12月始めるとの事ですが、どこの病院からですか？
○橋本施設長
・大阪の病院です。
○市役所介護保険課　方山様
・外から見てもらえるのは良いですね。色々な意見がもらえると思いますので。

5. 今後の開催について（原則2ヶ月に1回定期的に開催。）
・次回開催予定日　12月16日（火）　14：00

令和７年１０月２１日開催　運営推進会議　資料

（会議日現在　ご利用者数　単位：名）

１．入所状況報告（定員：２０床）

	現在	（男性）	（女性）	←	前回
利用者数	１７	（６）	（１１）		１７

※前会議から本日までの入退所者数

入所・・・○８月２８日、女性１名

退所・・・○９月２９日、女性１名

２．要介護度別（平均要介護度：３．４）

区分	現在	（男性）	（女性）	←	前回
要介護度　１	0	（０）	（０）		0
要介護度　２	0	（０）	（０）		0
要介護度　３	１１	（５）	（６）		１１
要介護度　４	5	（１）	（４）		5
要介護度　５	1	（０）	（１）		1
その他（申請中等）	0	（０）	（０）		0
計	１７	（６）	（１１）		１７

３．年齢別（平均年齢：９１．２歳）

区分	現在	（男性）	（女性）	←	前回
７０歳～７４歳	0	（０）	（０）		0
７５歳～７９歳	0	（０）	（０）		0
８０歳～８４歳	1	（１）	（０）		1
８５歳～８９歳	7	（４）	（３）		5
９０歳～	9	（１）	（８）		１１
計	１７	（６）	（１１）		１７

運営推進会議（令和７年10月21日開催）

ユニットD・E

1，ユニットでの取り組み

・ユニットレクリエーション

8/7　風船バレーレク（13時半～14時半）

9/8　カラオケレク（13時半～14時半）

・夏服から冬服への衣替えを実施。

（不足している衣類がある場合、家人様へ連絡させて頂きます）

・ユニット広報誌作成中（11月発~~想~~送を予定）

2，入所者様について

・感染症による発熱などは見られません。

・10/27インフルエンザ予防接種を全入所者様に実施予定。

コロナ予防接種につきましては、希望者のみの実施を予定しています。

・9月より看取り介護を開始しています。

看取り介護に不慣れな職員がいるため、今後看取りについての勉強会をしていきます。

3，職員研修

・9/18消防訓練実施。避難経路・連絡方法の確認を行いました。

・10/10～10/12緊急時シミュレーション会実施。

急変時対応の確認・特定技能職員への伝達・他部署との連携確認を行いました。

・10/13救命講習実施。心肺蘇生やAEDの使用についての講習を行いました。

・タオル移乗・スライドボードの使用等、介助方法の変更による講習・勉強会を都度実施しています。

4，苦情報告

・8/14発生したアクシデント（職員がトイレ安全バーを設置し忘れたことによる転落事故）について、家人様より苦情を頂いております。

再発事故が発生しないために、職員一同、安全バー設置の確認は確実に行っています。

入所者様のご様子については、1週間毎に連絡させて頂き、

病院受診にて骨折の経過を医師に確認してもらっています。

4，アクシデント・ヒヤリハット報告（8/20～10/20）

・転倒アクシデント：1件

・内出血：1件

・皮膚剥離：2件

・歩行ふらつきによるヒヤリハット：1件

対策

・利用者様のADL状況の見直しを行い、立位・歩行・移乗方法の見直しを行う。
特に、トイレ時のアクシデントが続いている為、職員間の情報共有を密に行う。

・特定の職員のみが対応できる介助は廃止し、安全・安定した介助方法をケアマネジャー、看護師、介護職員でカンファレンスを実施。
その後評価を行い、今後のケアへと繋げる流れの構築を行う。

・居室や自席周りの入所者様の歩かれる範囲において、障害物の撤去、手すりになる物（タンスやソファーなど）を設置し安全な歩行環境の構築を行う。